

逝き方の不安をなくす

孤独死保険・桜葬
寺で「死」を体験

[京都特集] 経済・男・笑い
SNS犯罪からわが子を守る

AERA

昭和63年6月10日第3種郵便物認可
2017年11月20日発行
毎週月曜日発行(11月13日発売)
通巻1650号

‘17.11.20
No.51

特別定価 410円

増大号
アエラ
ミュージシャン
坂本龍一

不 安 に な ら な い
[大特集]
逝き方



利用規制では防げない

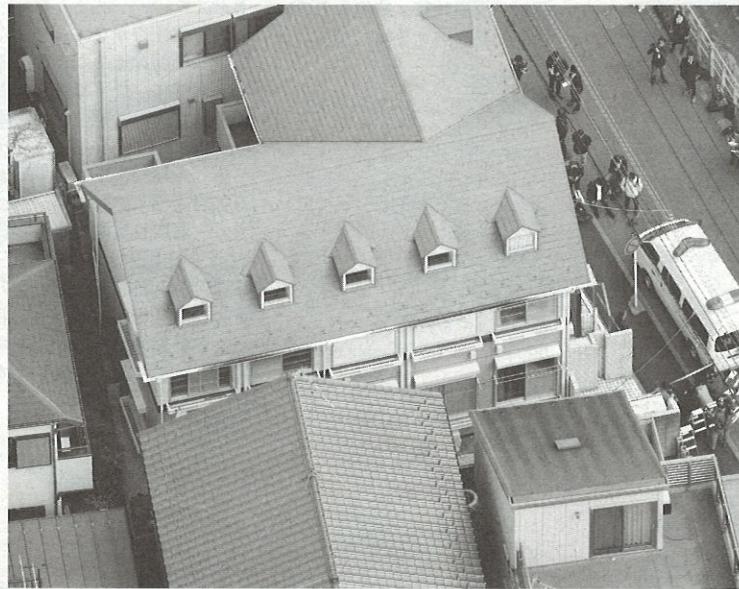
思春期の生きづらさを利用し、毒牙にかけたのか。座間事件の犠牲者には15歳の少女もいた。危険性が指摘されるSNS。だが、利用規制だけでは解決にはならない。

神奈川県座間市で9人の遺体が見つかった事件は被害者全員の身元が判明した。警視庁の情報によると、高校1年の女子(15)や高校2年の女子(17)をはじめ3人が、18歳未満だった。

報によると、高校1年の女子(15)や高校2年の女子(17)をはじめ3人が、18歳未満だった。事件について菅義偉官房長官は「人の目の届きにくくSNSを利用した極めて卑劣な手口」だと厳しく批判。11月10日には関係閣僚会議を開き、自殺に関する不適切な書き込みの削除や制限の強化、ネットを通じて自殺願望を発信する若者の心のケアなどを指示した。

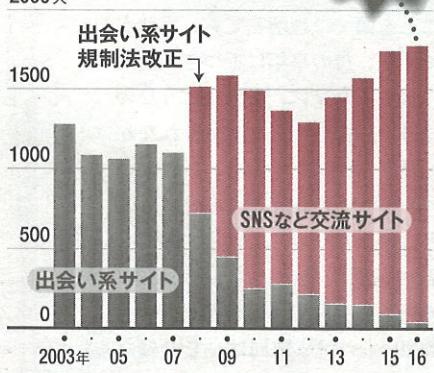
出会い系からSNSへ

これに先がけてツイッター社は利用規約を更新し、自殺や自傷行為の助長や扇動を禁じると明記した。該当するツイートには削除やアカウント停止などの措置を行い、また自殺をほのめかすようなツイートには専門家の相談を促していくという。しかし、



18歳未満のSNSなどを通じた犯罪被害者数

(警察庁調べ)



過去最高
Twitterは
1年間で倍増

白石容疑者が住んでいたアパート。「#自殺募集」などのハッシュタグが入った投稿を検索して被害者と接触したと見られている

「具体的に『この言葉がアウト』

というものはつくっていない」

(広報担当者)

「一緒に死んでくれる方を募集しています」「#自殺募集」という投稿や「よかつたら、一緒にやります」というリプライが今も飛び交っている。

SNSを介して犯罪被害にあ

う子どもたちは増加する一方だ

(左のグラフ)。警察庁によると、

2016年にツイッターなどの

SNSがきっかけで児童買春や児童ポルノの性犯罪被害などにあつた18歳未満の若者は173人となりました。08年の出会い系サイト規制法改正で18歳未満の利用が禁止されたことが背景

「私にとって息をするのとつぶやくのは同じ」

と言うのは、東京都内の私立高校1年生の女子(15)。普段から八つのツイッターアカウント

を活用し、調べものをするときもグーグルやヤフーではなくツイッターで検索しているという。

親や友人に言えない悩みや愚痴は新規アカウントをつくりツイートすることで解消してきた。

ノートやメモに書くのは違い、発言した達成感があるからだ。

「タイムラインつて流れていくものだし、誰かに読まれているという意識はないんです。でも今回の事件みたいに反応してくれる人がいたらうれしいと思つ

高まる危険があります」

と指摘する。保護者や教諭らは自殺願望を打ち明けられても、心配や責任感から話を聞くよりも「指導」したくなるが、それは良くない。まずは子どもたちの声をそのまま受け止めること、信頼に裏打ちされた関係性を築くことが大切だ。異変を感じたら経験豊富な専門家や支援団体につないでほしいという。同時に「子どもの自己責任論にしてはいけない」と、被害者である子どもや若者にだけネットリテラシーを求めるような空気にも警鐘を鳴らす。

本当に必要なのは、加害者になり得る大人がSNSを悪用しないための規制だろう。

にある。中でも匿名で利用できるツイッターを通しての被害は急増しており、16年の被害者数は15年の約2倍に。

過剰な利用制限は危険

対策はあるのか。ツイッターのパートナーサービスにもなっており、月1万人が利用する10代は15万人が利用する10代

「うちでもツイッターの利用を控える気はない」という。

保護者や周囲の人間にできる